I-2：アウトブレイク発生時の流れ

アウトブレイク？

- 同様の症状（発熱、呼吸器症状、腹痛・下痢、創部感染など）を持つ患者が複数発生した場合
- 同じ微生物が複数検出された場合
- 公衆衛生上重要な疾患が１例でも発生した場合

医師・病棟看護師・検査技師などからの第１報

アウトブレイクの存在の確認
「本当にアウトブレイク？」
「いつから起こっている？」
「現在も続いている？」
「その規模は？」

アウトブレイク発生!!

病棟対応の確認・指導

実地疫学調査の実施
①アウトブレイクの概要を把握
・病原体検出状況の確認と把握
・感染患者および感受性患者の把握
・現状の確認、問題点、対策の検討
・薬歴の確認
・環境検査の実施
・スクリーニングの実施
②アウトブレイクの原因調査
・感染予防策の破綻の有無
・感染経路など
③是正処置フローに沿った対策
・是正処置報告書の作成・運用

対策を指示

事態への対応
①感染源・経路対策
・患者の個室隔離
（またはコホーティング）
・スタンダードプリコーションの強化
・感染経路別予防策の実施
②感受性者対策
・未罹患者の逆隔離
・抗菌剤の予防投与
③環境対策（清掃・消毒など）
④担当スタッフへの指導・教育
⑤疫学調査を踏まえた対策の実施
⑥管轄保健所への連絡

アウトブレイク終息

終息後の対応
①アウトブレイク対策の評価（対応・処置が適時、適切であったか）
②再発防止への取り組み
（アウトブレイクの経験を日常の感染対策にフィードバック）
③通常業務における感染対策の強化（マニュアル・システムの見直し）
④マネジメントレビューの実施

※通常アウトブレイクは「潜伏期間の２倍の期間」新規発生がないことを確認して終息と判断する